

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 12月 29日

事業所名 ヴィストカレッジ西金沢駅前

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		・来所者人数、児童の特性に応じて、広い訓練室、狭い訓練室を使い分けている。	
	2 職員の配置数は適切である	4	1		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	3	・来所者人数、児童の特性に応じて、広い訓練室、狭い訓練室を使い分けている。 ・玄関・ワーク室の段差はない	・トイレの段差に台を設置×5 ・各部屋に使用中、使用していないのかのカードを設置。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		・コロナということもあり、消毒は行っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		・ケア記録記入の際にSOAPを使用。当日の様子をあてはめ、次回のワークの組み立てに活かしている	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	3		・今年度からアンケートを取り入れたので、保護者さんからの意見をもとに今後につなげていく。 ・今年度から実施予定の為、未実施。アンケート集計後、改善会議を行い周知を行う。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	3		・今年度から実施予定の為、未実施。アンケート集計後、改善会議を行い周知を行う。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3		※一人入力なし
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1	・スタッフ内勉強会を行い、支援向上に努めている。 ・内部の講師から研修を受けている。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		・アセスメント面談を実施。聞き取りを行い、計画書の作成を行っている。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		・児童発達支援に関してはJSI-Rを使用。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		・本人への支援はもちろんのこと、ご家族で実施できているよう保護者フィードバックを行っている。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		・支援に入る際には、必ず個別支援計画書の短期目標に沿った内容の活動をする。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	3	2	・案が出てきた際には、スタッフでMTGを行い内容を決めている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	・定期的スタッフ間で話し合いをしている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5		・個別ワーク・集団ワークで実施する内容を計画書に記載している。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		・朝礼にて内容の共有を行っている。 ・集団活動の場合、スタッフも二人態勢になるため、役割分担等の確認は行っている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	・終礼にて実施した内容、様子の聞き取りを行う。 ・集団活動の場合、スタッフも3名態勢になるため、活動後振り返りの時間を設けている。	
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		・ケア記録を必ず記入。SOAPを用いて、次回のワークで行うとよい内容についてなども記載。		

支援の提供	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5			
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1	・児童発達支援管理責任者が参加している。 ・児童発達支援管理責任者と、児童の担当スタッフが参加可能な時はしている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		4		※一人入力なし
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		4	該当者いない×2 ・医療的ケア児の受け入れはしていません。	※一人入力なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		4	該当者いない×2 ・医療的ケア児の受け入れはしていません。	※一人入力なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2	・児童の保育園に訪問し情報共有を行う。	感染予防に十分に配慮したうえで連携をとっていく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		4	・今年度より児童発達支援を行っている為、未実施	※一人入力なし
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	4		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5		・地域主催のイベントに参加する
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		5		・地域主催のイベントに参加する
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		・活動後、保護者に対するフィードバックを必ず行っている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	1	4		・普段の保護者FBで家庭でもできる事を伝えていく。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1	・契約時、必ず直接お伝えしている	・まだ、把握できてない部分があるので、答えられるように周りの方からも学ぶ。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5			
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	2	・活動後、保護者に対するフィードバックを必ず行っている。その際出来る限りの助言を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5		・保護者同士の交流に興味の有無を調査する。 ・興味を持たれている方が多い場合は企画する。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		・相談を受けた際は、すぐにスタッフに共有やわかるスタッフと一緒に聞き取りを行っている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		・カレッジだよりやSNSを活用している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5		・社内でも、氏名を伏字にするなど注意している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		・活動後、保護者に対するフィードバックを必ず行っている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2	・月1で事業所開放日を設けている。×3 ・開所時に周辺住民を招いてのイベントを実施	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	2		・緊急時対応マニュアルをスタッフ・保護者がいつでも見られる場所に設置する。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		4	・今年度1月に実施予定。	※一人入力なし
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3	2		・アセスメント面談の際に、聴取させていただくようにする。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		5	該当者いない ・保護者からアレルギーの聞き取りを行っている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	1	4	・運営規定、契約書類に記載済	